

令和5年度乳児院くれよん事業報告書

- 1 所在地 兵庫県朝来市山東町大内505-1
- 2 利用定員 9名（別途一時保護実施特別加算5名）
- 3 職員定数 18名（常勤職員14名非常勤職員4名）  
職員配置数 20名（常勤職員17名非常勤職員3名令和6年3月31日）
- 4 事業開始年月日 平成28年4月1日
- 5 事業運営

児童福祉法第37条に規定する乳児院として、こども家庭センターからの入所や一時保護、市町村からのショートステイによる乳幼児を預かり養育し、退所したこどもや家庭の相談や援助を行う。養育の基本方針として、乳幼児の安全健康な生活環境の確保、家庭的養育を基盤とする愛着と信頼関係の構築、こどもの個性と発達に応じた個別的養育の推進を図る中で、一人一人のこどもの心身の健やかな成長を促すような養育支援を行うと共に、家族再統合、里親委託推進、こどもの最善の利益の保障を図ることを目的として運営を行なった。また、地域の様々な機関、社会資源との連携を図りながら、地域支援、子育て支援を行い、地域の児童福祉向上に期するよう事業展開を行うように努めた。

6 支援実績

(1) 年間在籍乳幼児数（各月初日在籍乳幼児数）

区分/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
0歳児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1歳児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2
2歳児	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
年少児	5	5	5	5	5	5	5	6	5	5	4	5	60
計	6	6	6	6	6	6	6	7	6	6	6	7	74

(2) 入所・退所乳幼児数

区分/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
入所								2			1	1	4
退所								2		1		1	4

(3) 一時保護（退所日算入なし）・ショートステイ（レスパイト・ケア含む）延日数

区分/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
一時保護	1	80	60	65	65	54	65	39	71	89	58	62	709
ショート	16	8	29	10	9	18	0	4	9	15	0	2	120

(4) 一時保護実施特別加算（退所日算入なし）延日数

区分/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
一時保護	61	27	48	115	128	124	118	110	66	35	59	103	994

(4) 生活時間のめやす

時 間	乳 児	備 考
06:30～	起床・検温	おおむね適応している (次年度から 06:00 に変更)
	授乳・離乳食・おむつ交換 適時	適応している
	あそび・睡眠 適時	適応している
15:30～	検温・沐浴	適応している
19:30～	就寝	おおむね適応している (次年度から 20:00 に変更)

時 間	幼 児	備 考
06:30～	起床・排泄・着替え	おおむね適応している (次年度から 06:00 に変更)
07:00～08:00	朝食・洗面・排便・検温	適応している
08:00～10:00	あそび 8時～14時やなせこども園(平日)4名	適応している
10:00～10:15	おやつ	適応している
11:30～12:30	昼食	適応している
13:00～14:30	午睡	おおむね適応している
15:00～15:15	おやつ	適応している
15:15～16:30	あそび	適応している
16:30～17:30	入浴	適応している
17:30～18:30	夕食	おおむね適応している (次年度から 17:00～18:00 変更)
18:30～19:30	あそび・TV	適応している
20:00～00:00	就寝	おおむね適応している

(5) 行事等実績

日 程	行 事 名	場 所	参加人数
04月08日	お花見	くれよん園庭	乳幼児10職員6
05月01.05日	こどもの日・端午の節句	三段池公園・くれよん	乳幼児10職員6
06月17日	ほたる鑑賞会	山東町上ゲ	乳幼児6職員2
07月02日	竹田城跡に登ろう	竹田城跡	乳幼児2職員2
07月07日	七夕まつり	くれよん	乳幼児10職員3
07月16.30日	花火大会	くれよん園庭	乳幼児12職員5

07月25.26日	海水浴	天橋立	乳幼児6職員3
07月25日	ミニシアター上映会	本部地域交流室	乳幼児6職員3
08月02日	ソーメン流し	くれよん園庭	乳幼児13職員6
08月06日	ノビアホールフェスタ	関宮公民館	乳幼児6職員3
08月10日	くれよん夏祭り	くれよん園庭	乳幼児12職員7
08月17日	お化け屋敷	くれよん	乳幼児12職員5
08月20日	生き物や自然に親しむ	青垣生き物ふれあいの里	乳幼児7職員3
08月21日	地域交流：手品大会	本部地域交流室	乳幼児12職員6
08月25日	プール	春日レジャープール	乳幼児5職員3
08月30日	花火大会	くれよん園庭	乳幼児11職員4
09月29日	お月見	くれよん	乳幼児12職員5
10月07日	地域交流：楽器演奏会	本部地域交流室	乳幼児11職員7
10月22日	くれよん運動会	本部地域交流室	乳幼児11職員7
10月29日	ハロウィン	くれよん	乳幼児13職員4
11月08日	日帰り旅行	ひまわりの丘公園	乳幼児2職員2
11月11日	七五三詣り	栗鹿神社	乳幼児1職員1
11月18日	日帰り旅行	東条湖おもちゃ王国	乳幼児5職員4
11月19日	ミニシアター上映会	本部地域交流室	乳幼児6職員3
12月03日	地域交流：もちつき大会	くれよん	乳幼児9職員10
12月10日	地域交流：あさご食の会	和田山生涯学習センター	乳幼児3職員2
12月24日	クリスマス会	くれよん	乳幼児10職員5
01月01.02日	初詣	栗鹿神社	乳幼児8職員5
02月03日	節分	くれよん	乳幼児6職員7
03月02日	ひなまつり	くれよん	乳幼児12職員7
年間8回	お茶のお稽古	本部地域交流室	3～5歳児対象
年間14回	クッキング・製作	くれよん	在籍幼児勤務職員
年間12回	家庭菜園	くれよん園庭	在籍幼児勤務職員
年3回	非常時生活体験 (防災訓練) (電気水道無非常食)	くれよん	在籍児童勤務職員
年1回	救命処置訓練	くれよん	在籍児童勤務職員

(6) 避難訓練実績

各月1回 年12回

## (7) 支援計画の策定と実施

### ①自立支援計画

個別乳幼児について、こども家庭センターの支援指針、幼児、保護者、施設の意見を取入れ、自立支援計画を策定し、計画の実施と再評価を行い、個別乳幼児の課題達成に努めた。

### ②個別対応

個別対応が必要とされる乳幼児について、生活場面や創作活動での1対1の対応を行い愛着関係の再構築に努めた。若草寮心理職員と協働しプレイセラピーを2名実施した。また作業療法士によるニーズケアの高い児童に対する職員の研修及び、毎週火曜日の定期的実践指導を受けました。

### ③家庭支援相談

保護者への相談・支援等を行い、親子関係の再構築を図り、家庭復帰に向けた支援を行いました。面会は239件、一時帰宅は30件でした。季節ごとに保護者に手紙(写真)を送り状況報告を行いました。家庭復帰は0名・施設異動は2名でした。

### ④里親支援相談

里親支援専門相談員の配置により、令和6年度里親フォスタニグ機関設立に向けた準備(外部研修等)を行いました。施設においては、里親マッチング面会36件里親マッチング外泊15件実施し、里親委託2件に繋げました。継続的に支援を行っていますが1件不調に終わっています。

### ④集団行事

乳幼児の安全を最優先し、それぞれの季節に合った行事の計画、実行に努めました。また、年齢と成長を考慮し行事の細分化に努めた。新型コロナウイルス感染症5類移行により過去3年間よりも大幅に行事を増やすことができました。

## 7 支援結果の概要

- (1) 今年度、さくらの一む(プレこども園)の該当児がおらず急遽、お茶のお稽古を実践し特別な空間・時間の体験を提供しました。
- (2) 乳児(一時保護児含)は、日常生活に適応し、元気よく、健やかに生活することができた。
- (3) 1.2歳児(一時保護児含)は、日中4.5歳児がやなせこども園に通園する分、くれよんでゆつくりと生活することができ、生活の変化を感じ取ることができました。
- (4) 年少児は、トイレトレーニングを中心に、時間毎の声掛けを徹底しました。クッキングや家庭菜園にも楽しんで取組めた。
- (5) やなせこども園通園児5名のうち2名は小学校入学へむけ次施設と連携し退所、また、こども園の先生方とも児童の問題行動を改善するために協力できた。

- (6) 食事に関しては、調理師を中心に幼児にも要望を聞きながら提供しました。また食育計画の見直しを行い、職員間の共通認識に努めました。
- (7) 特別な支援の必要な乳幼児  
クレチン症児定期的丹波医療センター受診 1 名  
熱性けいれん発症児 1 名
- (8) 通院 延べ 261 人 別途入院 1 回 3 日間
- (9) 予防接種 四種混合 延べ 0 人 日本脳炎 延べ 2 人 MR 延べ 3 人  
肺炎球菌 延べ 1 人 H I B 延べ 1 人 ロタ 延べ 0 人  
水痘 延べ 2 人 B 型肝炎 延べ 1 人 インフルエンザ延べ 16 人  
おたふく 延べ 0 人 コロナウイルス 2 人
- (9) 健康診断 4 月 8 人 10 月 14 人

## 【運営管理】

### 1 人事・労務

#### (1) 職種別職員数

職種	施設長	指導員 保育士	看護師	調理員等	補助員	非常勤	嘱託医	計
年度初	1	14	1	1	0	2	1	20
年度末	1	14	1	1	0	2	1	20

※今年度は育児休業職員 1 名いた為、職員定数以上を雇入れています。

#### (2) 採用・異動

月日	職種	人数	学歴	福祉施設経歴等	備考
07 月 01 日	保育士	1	短大卒	有	

#### (3) 退職・異動

月日	職種	人数	学歴	勤務年数	退職理由
07 月 31 日	保育士	1	短大卒	2.3	一身上の都合
03 月 31 日	保育士	1	短大卒	2.0	一身上の都合

### 2 協定締結及び届出

3 6 協定 (4 月 1 日締結令和 5 年 3 月 27 日届出)

1 箇月単位の変形労働時間制に関する協定 (4 月 1 日締結令和 5 年 3 月 27 日届出)

### 3 会議

#### (1) 施設が開催した内部の主要会議

- ① 職員会議 (リーダー会議・ユニット会議・給食会議含む)
- ② 職員ミーティング

- ③ 支援検討会議（自立支援計画策定会議を含む）
- ④ 法人内情報共有会議

(2) 関係機関等開催の外部会議

兵庫県乳児院連盟会議 近畿乳児福祉協議会会議 兵庫県児童養護連絡協議会会議  
 全国乳児福祉協議会会議 こども家庭センター・兵庫県児童課との会議 要保護児  
 童対策地域協議会会議 支援関係者・機関との会議

4 職員健康診断 和田山健康倶楽部 入社時健診 0人  
 定期健診 5月13人 11月8人 12月8名  
 1月2人 2月1人  
 インフルエンザ予防接種 16人  
 腸内細菌培養検査 12回 延べ192人

5 監査等

- (1) 消防査察 令和5年度無
- (2) 消防設備等点検 年2回
- (3) 自主点検 建物遊具点検 毎月
- (4) 第三者評価受審 令和6年1月24日 きょうと福祉ネットワーク「一期一会」

6 研修

- (1) 職員外部研修  
 兵庫県児童養護連絡協議会研修、新任職員研修、離乳食研修、縣市乳児院合同研  
 修、近畿乳児福祉協議会職種別研修、近畿乳児福祉協議会研修会、全国乳児福祉協  
 議会研修会、児童虐待防止啓発研修、里親研修会
- (2) 職員内部研修  
 経営計画策定（法人）研修、自立支援計画実施研修、支援技術研修、栄養・給食研  
 修、危機管理研修、法令・諸規定研修、保育研修、発達障害研修、施設内虐待防止  
 研修、発達障害研修、人権研修

7 苦情内容及び解決結果

施設および第三者委員への苦情はありませんでした。

【施設整備等】

1 器具及び備品・構築物の購入

食洗器	12月4日	319,000円
洗濯機	12月5日	180,000円

## 2 業務委託・保健衛生・保守

防虫防鼠駆除管理委託（月 1 回）	55,000 円	年間 2 回支払
消防用設備等点検整備委託	59,400 円	年間 2 回
一般廃棄物収集処分委託	152,790 円	毎週 2 回
一般廃棄物収集処分委託（バツカン）	86,900 円	年 2 回

## 3 修繕（修繕費 10 万円以上）

埋め込み型空調機	603,900 円	
----------	-----------	--

### 【寄付金・寄付物品】

1 寄付件数        46 件        159,795 円

### 【地域との交流・連携】

#### 1 実習生・ボランティアとの交流

- (1) 実習生の受入：豊岡短期大学 1 名 姫路大学 1 名 湊川短期大学 2 名
- (2) もちつき大会：椿野 様 楽器演奏会：奥川 様 手品大会：今村 様

#### 2 地域社会を通じた交流と連携

- (1) 地域行事への参加
- (2) 民生児童委員施設訪問
- (3) 市町村の施設訪問
- (4) 大内地区への児童製作物・お手紙等の配布

#### 3 関係機関・各種団体との連携

- (1) 県児童課等関係部局、こども家庭センター、健康福祉事務所、医療機関
- (2) 市役所、警察署、消防署、職業安定所、労働基準監督署、日本年金機構、その他官公庁
- (3) 民生委員、虐待防止ネット、県（児童養護）・近畿・全国の乳児院協議会
- (4) こどもの権利擁護委員会、第三者委員、運営適正化委員会
- (5) 社会福祉協議会
- (6) 要保護児童対策協議会（朝来市）

#### 4 地域の子育て相談事業・支援事業

- (1) 一時保護実施特別加算事業
- (2) ショートステイ事業
- (3) 里親レスパイト・ケア事業